

# 第8期 財団法人こしじ水と緑の会事業報告

(平成19年10月1日～平成20年9月30日)

## 1. はじめに

今期は、平成20年12月に施行される新しい公益法人制度への移行に備える重要な年度であった。公益財団法人を目指すために、既存の組織や事業を見直し、新制度の要件を整えるための作業をすすめ、新年度に引き継いだ。

財団活動では、「第5回自然保護助成基金成果発表会」「第7回自然保護助成基金選考結果報告会」を開催した。朝日城の森の整備では、除草等の継続した保守管理を行った他、朝日会の支援を得て大掛かりな整備に着手した。更に、朝日城の森のスギ材を活用した山小屋建設を行い今後の活動拠点を築いた。また、「自然学校」の会場や「こしじ水と緑の会に集う会」の会場として活用を図った。

河川環境に関わる事業では、ふるさと創生基金事業へ協力する形で、「渋海川と暮らしを考えるシンポジウム」を催した。

## 2. 財団法人こしじ水と緑の会

### (1) 助成事業

助成事業として、「第7回朝日酒造・自然保護助成基金」として実施した。

なお、詳細は以下のとおり。

#### ① 一般助成（公募を行い、選考委員会で決定）

- ・ 応募期間：平成19年11月1日～平成20年1月31日
- ・ 選考：選考委員会にて選考の上、決定。
- ・ 交付：平成20年3月29日（土）に助成金交付式を開催。
- ・ 助成金総額：7,180,100円

第7回(財)こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金一覧

申請受付順(敬称略)

No.	団体名	決定額	活動名
1	新潟珪藻グループ	500,000	ホテルの幼虫の餌であるカワニナ生息地の珪藻群集
2	青田川を愛する会	500,000	ホテル育成研究棟の設置と放飞イベントの実施
3	山本麻希	499,260	粟島に生息するオオミズナギドリの保全管理に向けた調査、啓蒙活動
4	新井郷川の環境をよくする会	350,000	新井郷川の環境保全と啓発活動
5	福島潟野鳥の会	182,440	「探鳥会ガイド・野鳥リスト」作り
6	大佐渡放牧トラスト	500,000	放牧草原再生のための現地作業と調査研究
7	石庭寛子	500,000	新潟県内における野生生物へのダイオキシン汚染の実態調査
8	NPO 法人加治川ネット21	425,000	環境教育普及促進プログラム「加治川流域環境学習発表会」
9	村上トライあんぐる	500,000	甞れ!清水川
10	馬場吉弘	500,000	イトヨの生息できる河川とは？－イトヨ生息河川と絶滅河川の環境比較－
11	小澤三四郎	380,000	「朱鷺との共生をめざして」身近な水環境の調査
12	わんぱく倶楽部	500,000	中津川流域の自然環境総合調査
13	生物多様性保全ネットワーク新潟	343,400	佐渡島における外来魚の生息実態調査と防除計画の作成
14	ブラックバス問題新潟委員会	500,000	県内水域での外来魚駆除及び生態調査
15	NPO 法人新潟水辺の会	500,000	新潟県内中小河川の、鮭の遡上・自然産卵調査
16	いわふね自然愛好会	500,000	浦田山丘陵の生物相の調査および報告書、自然マップの作成

#### ① 特別助成（緊急な助成が必要な事業に対し、選考委員会で決定）

- ・ 申請事業名：KODOMO ラムサール国際湿地交流 in にいがた

- ・申請団体：KODOMO ラムサール国際湿地交流 in にいがた実行委員会
- ・受付日：平成 20 年 1 月 25 日
- ・選考：選考委員会にて選考の上、採択された。
- ・交付：平成 20 年 5 月 16 日（金）
- ・助成金総額：500,000 円

一般助成及び特別助成の助成金総額：7,680,100 円

## (2) 財団独自の事業

財団自らがその目的を達成するために、以下の事業をおこなった。

### ① 第 5 回（財）こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金成果発表会を開催

- ・期 日：平成 19 年 11 月 3 日（土）
- ・時 間：13：30 開会、16：30 閉会
- ・会 場：越路町商工会館
- ・内 容：第 5 回助成事業の期間満了を受けての、採択 12 団体・個人による公開成果発表会及び希望により財団役員・発表団体・聴講者との交流会（会費制）を併催。  
なお、開催に合わせて、予稿集を 200 部作成、来場者に配布した。
- ・参加者：50 名（採択団体・個人 12 団体、理事・評議員・事務局、一般）  
イベントスタッフ：社員 5 名支援あり

### ② 「第 4 回 越路の里山を考える会」の開催

- 期 日：平成 19 年 11 月 23 日（金・祝）
- 会 場：朝日酒造事務棟 2F・会議室
- 内 容：朝日城の森への視察と会議
- 参加者：15 名（理事、地元有識者、事務局）

### ③ 「第 7 回（財）こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金交付式」の開催

- 期 日：平成 20 年 3 月 29 日（土）
- 会 場：朝日酒造事務棟 2F・会議室
- 内 容：第 7 回助成基金採択 16 団体・個人への交付書の贈呈と活動計画の発表会及び交流会。
- 参加者：31 名（助成先団体・個人 12 団体、理事・評議員・事務局）

### ④ 里山利活用公益モデル「朝日城の森」保全・整備事業

- ・朝日城の森の杉を材料とした山小屋（1 階は物置）の建設を行った。  
上棟式：平成 20 年 9 月 21 日（日）
- ・動植物調査を継続して実施した。
- ・散策道の障害となる高木（コナラ等）を冬季に伐採、キノコのほだ木として春の自然学校で活用した。
- ・朝日会のボランティア活動を受入て、南側斜面地の刈り払いを行った。
- ・水と緑の自然学校等の諸活動を支えるため、定期的に城址部と歩道の草刈を行なった。
- ・入口駐車場部へ仮設トイレを設置（設置期間：4 月～11 月）

### ⑤ 水と緑の自然学校の開催

「水と緑の自然学校」事業を第 7 期に引き続き、朝日城の森を主会場として開催した。

- ・第1回 期 日：平成19年10月28日（日）  
 会 場：朝日城の森  
 テーマ：酒文化に親しむ自然学校  
 内 容：自然観察、樹木（スギ）の手入れ及び酒林づくり  
 参加者：6名（他、スタッフ6名）
- ・第2回 期 日：平成20年4月12日（土）  
 会 場：朝日城の森、朝日集落センター  
 テーマ：春の森に親しむ  
 内 容：春の草花観察ときのこのこま打ち体験  
 参加者15名（他、講師・スタッフ3名）
- ・第3回 期 日：平成20年6月1日（日）  
 会 場：巴ヶ丘自然公園及び朝日城の森  
 テーマ：樹木とふれ合う  
 内 容：草花遊び、樹木の観察、樹木博士検定に挑戦  
 参加者7名（他、講師・スタッフ3名）
- ・第4回 期 日：平成20年8月23日（土）  
 会 場：渋海川の河原（朝日地内）  
 テーマ：渋海川で川遊び  
 内 容：生き物さがし・観察、ボートなどでの川遊び  
 参加者32名（他、講師・スタッフ9名）

#### ⑥渋海川と暮らしを考える調査研究事業

渋海川流域をモデルとして、交流会議やシンポジウムの開催を通じて、河川環境の問題や課題を描き出すことを狙いとしている。本年は「渋海川と暮らしを考える実行委員会」と協働して、シンポジウムを開催した。

- 期 日：平成20年7月13日（日）
- 会 場：越路公民館十楽寺分館
- テーマ：渋海川と暮らし
- 内 容：基調講演（大熊 孝氏、中俣 均氏）、地元報告（関矢孝次郎氏）、パネルディスカッション（中静 透氏、大熊 孝氏、中俣 均氏、中俣 孝氏、井上信夫氏、白井 忍氏、金子 敏氏）
- 参加者300名

### (3)普及啓発事業

- ①会報を年6回、奇数月に発行した。（第31号～36号、各1,000部）  
 なお、今期よりカラー印刷とし、情報の品質向上につとめた。
- ②財団ホームページ「朝日城の森たより」を毎月更新し、朝日城の森の四季折々の姿を発信した。

### (4)会員募集

財団の広報活動として、以下の活動を実施した。

- ① 財団パンフレットの配布。
  - ・「朝日酒造酒蔵見学会」の来場者へ配布。
  - ・「ながおか環境まつり」の展示ブースにて配布。

②財団ホームページの情報更新、入会受付の広報を実施。

③「第5回こしじ水と緑の会の集い」を開催

県内・県外（首都圏）会員及び会員希望者を対象に開催した。

・期 日：平成20年4月19日（土）10:00 朝日酒造集合

・参加者：35名（内、一般30名）

・会 場：朝日酒造及びその周辺地、朝日城の森

・内 容：朝日城の森での自然観察と昼食、選択プログラム（吟行会：地引永安氏、  
写真撮影：鈴木孝枝氏、スケッチ会：那須高明氏、自然観察：財団理事・鴨澤征市氏）、ミニ音楽会鑑賞（朝日酒造エントランスホール）、交流会。

## (5)会員の動態

①会員数の現状（平成20年9月30日現在）

・個人会員 604名（社内：164名、社外：440名）

・法人会員 87名

計 691名

※参考：第7期末（平成19年9月30日現在）

・個人会員 612名

・法人会員 90名

計 702名

①会費（平成19年10月1日～平成20年9月30日迄）

・会 費 1,804,000円

## (6)収益事業

財団所有の建物について、朝日商事（株）と賃貸契約を継続。

## (7)基本財産の充実

健全な運営ができるよう基本財産の更なる充実が必要である。そのため、寄付金を募り、この一部を基本財産に繰入れた。

寄附金等（平成19年10月1日～平成20年9月30日迄）

・寄付金 15,127,507円

※上記寄附金の内、基本財産へ繰入 4,300,000円

以上